

一般社団法人日本太陽エネルギー学会 第14回定時社員総会報告

一般社団法人日本太陽エネルギー学会第14回定時社員総会は5月29日（水）13：15から東京理科大学森戸記念館第1フォーラムにてオンライン会議を併用して開催された。

式次第は次の通り。

1. 開会の辞 2. 議事 第1～4号議案
3. 2023年（令和5年）度学会各賞受賞者の発表
4. 表彰式 5. 閉会の辞 6. 特別講演会

定款第15条により秋澤 淳会長が議長として開会を宣言した。続いて総会開催資格について太田 勇副会長より個人会員ならびに団体会員の正会員581個中、出席者35個、オンライン参加者60個、総会議長への委任355個、合計450個であり定款17条に定める正会員の1/3（194個）を超え、総会は成立した旨の報告がされた。

続いて書記、議事録署名人の選出に移った。議長より、書記に太田勇副会長、議事録署名人に若尾真治副会長にそれぞれお願いしたい旨の提案があり、挙手多数により選任された。続いて第1号議案から第4号議案の審議に入った。第1号議案「2023年度事業報告並びに決算報告に関する件」について若尾真治副会長より説明を受けた後、会計監査報告として、監事を代表して原 人志監事より「会計は適正に処理されている」旨の報告があった。議長が議案の賛否を問い、全員の賛成をもって承認された。

第2号議案「2024年度事業計画並びに予算に関する件」について若尾真治副会長より説明の後、議長が議案の賛否を問い全員の賛成をもって承認された。

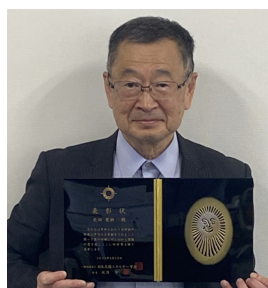
第3号議案「団体会員・学生会員会費改定の件」、

第4号議案「法人8期役員選出の件」について秋澤会長より説明を受けた後、議長が議案の賛否を問い全員の賛成をもって承認された。

続いて若尾表彰委員会委員長より2023年度の学会各賞の受賞者が報告された後、表彰式を執り行った。功労賞として、会長を1期、副会長を2期務められた光田憲朗氏（三菱電機（株））に記念の盾が贈呈された。2023年度最優秀論文賞（太和田賞）として加藤和彦氏（産業技術総合研究所）に表彰状と記念のメダルおよび副賞目録が贈呈された。論文賞として河村龍太氏・南野郁夫氏・村井和弥氏（元宇部工業高等専門学校）、宋 城基氏（広島工業大学）、伊澤康一氏（福山大学）に表彰状と記念のメダルが贈呈され、総会は14：30に終了した。

特別講演として、環境エネルギー政策研究所の安田 陽氏から「再生可能エネルギーの国際動向について」、石狩市企業連携推進課の加藤 純氏から「再エネの地産地活・脱炭素で地域をリデザイン」、経産省新エネルギー課の津田健人氏から「再生可能エネルギー政策について」と題して3件の講演をいただいた。

安田氏の講演では、1.5℃目標達成を確実にするためにカーボンバジェットとしてあと300Gtの排出しか許されないこと、2030年までの短期勝負であることに言及された。加藤氏の講演ではGXの実現に向けた石狩市の取組みや、石狩市が考える「北海道バレー構想」を通したDCの脱炭素化推進について言及された。津田氏の講演では、経産省の政策の内、次世代型太陽電池（ペロブスカイト）や浮体式洋上風力の社会実装化について支援を強化している旨の報告があった。



功労賞受賞の光田憲朗氏



太和田賞受賞の加藤和彦氏（右）と
太和田善久氏（左）



論文賞受賞の宋城基氏

(第 1 号議案) 2023 年度事業報告並びに決算報告

一般社団法人日本太陽エネルギー学会 2023 年度（令和 5 年度）事業報告

自：2023 年 4 月 1 日

至：2024 年 3 月 31 日

1. 第 13 回定時社員総会

期日：2023 年 5 月 29 日（月）

会場：東京理科大学森戸記念館第 1 フォーラムにて
オンライン会議を併用して開催した。

議事：

- (1) 2022 年度（令和 3 年度）事業報告並びに決算報告、剰余金処分の件、会計監査報告の承認に関する件
- (2) 2023 年度（令和 4 年度）事業計画並びに予算案の承認に関する件
- (3) 表彰 担当：表彰委員会（委員長：若尾真治）
次の方々に各学会賞を贈り表彰した。（敬称略）
 - 1) 2022 年度 功労賞
小西正暉（太陽光発電技術研究組合 元キャノン）
 - 2) 2022 年度 最優秀論文賞・太和田賞
標題「Imp, Vmp 常時監視による PV 性能評価・動作診断技術」 掲載号 Vol. 48, No. 3（269 号）
菱川善博, 吉田正裕, 千葉恭男（産業技術総合研究所） 岡島敬一（筑波大学）
 - 3) 2022 年度 押田賞
標題「環境調和型 PV/T ソーラーパネルの導入によるゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）の提案」 掲載号 Vol. 48, No. 2（268 号）
寺島康平, 佐藤春樹（慶応義塾大学）
 - 4) 2022 年度 論文賞
標題「Ge シード粒径制御技術を用いた多結晶 GaAs 膜のプラスチックフィルム上合成」
掲載号 Vol. 48, No. 4（270 号）
西田竹志（筑波大学）
 - 5) 2022 年度 奨励賞（一般部門）該当なし
 - 6) 2022 年度 奨励賞（学生部門）9 編
標題「B のイオン注入法による p-BaSi₂ 膜の作製および太陽電池応用」 青貫 翔（筑波大学）
標題「エネルギー効率向上のための蓄電システムの導入によるディーゼル発電小規模実験」
野田靖仁（静岡大学）
標題「PV 電力平滑化制御による電力系統の需

給制御への影響評価」 中橋大河（岡山大学）

標題「夏季のオープンクーリングによる住宅の室内気候 その 1 札幌にあるモデル住宅の実測調査」 熊谷菜花（札幌市立大学）

標題「Experimental study on insulation performance of structured-core transparent vacuum insulation panels for different core materials」 Erkki Hirvonen（北海道大学）

標題「2 重の複合放物面を持つ太陽集光器の最適設計」 富井滉介（東京農工大学）

標題「Auto-Encoder を用いたエリア PV 出力予測における時系列情報の導入に関する一考察」 森 友輔（早稲田大学）

標題「パラメータアンサンブルによる予測値のばらつきを用いた日射量予測大外し予見」

河合美咲（名古屋大学）

標題「ヘルシナイト多孔体による炭酸ガス熱化学分解実験」 小山佳子（新潟大学）

7) 2022 年度 若手研究発表会奨励賞 2 編

標題「大粒径 InGaAs 膜のプラスチック上合成技術と近赤外分光感度の実証」

西田竹志（筑波大学）

標題「部分影の移動に伴う FF の変化に基づく短絡故障バイパスダイオードの検出」

祐森 柊（津山工業高等専門学校）

2. 理事会

第 77 回理事会 2023 年 5 月 15 日

第 78 回理事会 2023 年 7 月 4 日

第 79 回理事会 2023 年 9 月 11 日

第 80 回理事会 2023 年 11 月 15 日

第 81 回理事会 2024 年 1 月 15 日

第 82 回理事会 2024 年 1 月 30 日（メール審議）

第 83 回理事会 2024 年 3 月 7 日

第 84 回理事会 2024 年 5 月 8 日

3. 各種委員会活動

3.1 事業委員会（委員長：佐川耕平）

- (1) 「電気自動車・燃料電池車・ソーラーカー製作講習会－新たな発想で創造する力を培う－」
2024年2月24日東海大学品川キャンパス オンライン併用開催 参加者：243名

3.2 広報委員会（委員長：桶真一郎）

- (1) 「第18回再生可能エネルギー世界展示会」(協賛)
2024年1月31日～2月2日 東京ビックサイト
アカデミックコーナーに出展し研究発表会や出版物の紹介・無償配布を行った。
- (2) HPにイベントカレンダー機能を追加した。会員専用HPでは過去の研究発表会発表の全資料がダウンロードできるようになった。2022年度以降の研究発表会講演論文集をJ-Stageで一般公開した。
- (3) ウェブメディア「みんなの試作広場」に掲載されていた「太陽エネルギー利用の基礎知識（10回連載）」は、(株)日立ハイテクノロジーズのHPに新たに掲載された。
- (4) 教育委員会による動画教材「学習・教育用ライブラリー／入門編2：再生可能エネルギーとその起源」をHPに掲載した。
- (5) 教育委員会による伊藤研究室（福井大学）・桶研究室（津山工業高等専門学校）の研究室紹介ビデオをHPに掲載した。

3.3 学会誌編集委員会（委員長：城石英伸）

- (1) 学会誌「Journal of Japan Solar Energy Society(太陽エネルギー)」発刊
Vol. 49, No. 3 275号 2023年5月 (92頁)
Vol. 49, No. 4 276号 2023年7月 (124頁)
Vol. 49, No. 5 277号 2023年9月 (104頁)
Vol. 49, No. 6 278号 2023年11月 (100頁)
Vol. 50, No. 1 279号 2024年1月 (94頁)
Vol. 50, No. 2 280号 2024年3月 (112頁)
以上、通巻275号から280号を発行した。
- (2) 「研究論文」「技術論文」を「研究論文」に統合し、新たに査読1回の「技術報告」のカテゴリーを新設した。
- (3) 研究論文・技術報告は9編を掲載した。
- (4) 太陽光発電部会・関西支部セミナーの講演要旨、各部会対応の学会誌特集記事を掲載した。

3.4 研究発表会運営委員会（委員長：野村裕宗）

- (1) 2023年度日本太陽エネルギー学会研究発表会を以下のとおり開催した。
開催日：2023年11月16日（木）～17日（金）

会場：エブノ泉の森ホール（泉佐野市）

参加登録者数：160名 一般講演論文：97件

見学会：2023年11月15日（水）参加者20名

泉佐野市長滝水上太陽光発電所／犬鳴山七宝瀧寺

- (2) 2024年度研究発表会開催地

会場：札幌市立大学芸術の森キャンパス

開催日：2024年11月2日（土）～3日（日）

見学会：2024年11月1日（金）

懇親会：2024年11月2日（土）

3.5 学会活性化委員会（委員長：植田 譲）

若手研究者に自由な発表の場を提供することを目的として第4回若手研究発表会を以下のとおり開催した。

2023年7月28日（金）オンライン開催 参加者34名

11名の発表者の中から若手研究発表会奨励賞を3名に授与した。（各賞受賞者は別掲）

3.6 表彰委員会（委員長：若尾真治）

- (1) 2023年度の奨励賞は一般部門4件、学生部門42件の申請に対して以下の通り選考し推薦した。
奨励賞（一般部門）は1名を選考し推薦し承認された。
奨励賞（学生部門）は11名を選考し推薦し承認された。
- (2) 功労賞は1名を選考し推薦した。
- (3) 論文賞については3編を選考し推薦した。
- (4) 学会賞は応募なし。
（各賞受賞者は別掲）

3.7 国際交流委員会（委員長：松原弘直）

- (1) KSESとの交流再開として2023年KSES秋季大会に太陽光発電部会から講演者1名を派遣した。

3.8 教育委員会（委員長：大竹秀明）

- (1) 学習・教育用ライブラリーとして「入門編Ⅱ：再生可能エネルギーとその起源」を2023年11月に公開した。
- (2) 研究室紹介として「福井大学 伊藤研究室」および「津山工業高等専門学校 桶研究室」をHPで公開した。

3.9 脱炭素社会推進会議（担当理事：太田 勇）

- (1) 定例会議へ参加した。

4. 部会活動

4.1 太陽熱部会（部会長：原 人志）

- (1) 第18回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラムにおける太陽熱分野に関する企画運営協力

(2024 年 1 月 22 日～ 30 日／オンライン)

(2) 部会を 11 月に開催し今後の活動について協議した。

(3) ソーラー建築ガイドブックへの編集協力。

(4) 予定していた「エコプロ 2023」出展は中止した。

4.2 太陽光発電部会（部会長：宮本裕介）

(1) 第 35 回セミナー「太陽光発電と AI の基礎・応用」

2023 年 4 月 17 日オンライン開催 参加者：66 名

(2) 第 36 回セミナー「太陽光発電設備のガイドライン策定にかかる実証実験」

2024 年 1 月 25 日オンライン開催 参加者：47 名

(3) 学会誌の特集記事として「太陽光発電と AI の基礎・応用」特集を 276 号に企画した。

4.3 光化学・バイオマス部会（部会長：渡邊康之）

(1) 学会誌の特集記事として「バイオマス・廃棄物資源の燃焼技術」を 275 号に、「人工光合成の進展」を 278 号に企画した。

4.4 ソーラー建築部会（部会長：太田 勇）

(1) ソーラー建築に特化したガイドブック作成と講座立ち上げを企画し、出版に向けた準備を継続している。

(2) 学会誌の特集記事として「災害時における住宅のレジリエント性能」を 278 号に企画した。

4.5 風力・水力部会（部会長：吉田茂雄）

(1) 風力・水力部会 講演会・見学会

CIREn 洋上風力分科会との共催 2024 年 3 月 7 日

リーガロイヤルホテル小倉 参加者 11 名

(2) 学会誌の特集記事として「海洋再生可能エネルギーの動向・展望」を 276 号に、「洋上風力発電の動向・展望」を 277 号に企画した。

4.6 100%再生可能エネルギー部会（部会長：秋澤 淳）

(1) 「再生可能エネルギーを活用するコージェネと地域熱供給」セミナー 2023 年 7 月 19 日

東京理科大学森戸記念館 参加者 31 名

(2) 「100%再エネ時代に向けて地域と共生する太陽光発電」合同シンポジウム 共生エネルギー社会実装研究所との共催 2023 年 10 月 18 日

日比谷図書文化館 大ホール 参加者 20 名

(3) 研究発表会におけるオーガナイズドセッションの企画 2023 年 11 月 16 日

泉佐野市エブノ泉の森ホール 参加者約 20 名

(4) 移動体（FCEV, EV）電力融通×V2Xによる社会基盤の構築～事例紹介・見学会～ 2023 年

12 月 12 日

福島ミドリ安全いわき支店 参加者 5 名

(5) 学会誌の特集記事として「再生可能エネルギーを活用するコージェネと地域熱供給」を 279 号に企画した。

4.7 地域脱炭素部会（設立発起人：秋澤淳）

(1) 2024 年 1 月 15 日の理事会で設立申請され、新規部会として承認された。

5. 関西支部の活動（支部長：原田真宏）

(1) 幹事会

第 1 回幹事会：2023 年 4 月 21 日

第 2 回幹事会：2023 年 7 月 28 日

第 3 回幹事会：2024 年 1 月 18 日

(2) 見学会 大和ハウス工業（株）住まいまると体験館・奈良工場 2023 年 9 月 8 日 参加者 19 名

(3) 研究室探訪 兵庫県立大学 姫路工学キャンパス 2023 年 9 月 26 日 参加者 12 名

(4) 2023 年度関西支部シンポジウム

「カーボンニュートラルに向けた社会動向と技術開発」2023 年 12 月 18 日 大阪公立大学 文化交流センター 参加者：39 名

本シンポジウムの講演内容を学会誌 275 号の特集記事として企画した。

6. 会員推移

今年度の会員数推移は下記の通りとなった。

・当期（2023 年度）新入会員

個人会員 23 名，学生会員 39 名，シニア会員 4 名

・2024 年 4 月 1 日の会員数

終身会員 17 名

個人会員 447 名

学生会員 43 名

シニア会員 30 名

合計 537 名

学校会員 1 校

団体会員 32 団体

2023 年度（令和 5 年度）一般会計収支報告

自：2023 年 4 月 1 日 至：2024 年 3 月 31 日

一般会計

収入の部 (単位：円)

科 目	予算	実績
前年度繰越金	4,023,694	4,023,694
会費	11,446,400	10,885,400
学会誌・書籍	1,949,400	1,602,614
雑収入	360,000	253,116
研究発表会	2,446,000	2,056,484
各種事業・部会等	1,335,000	1,179,465
当期収入	17,536,800	15,977,079
合計	21,560,494	20,000,773

支出の部 (単位：円)

科 目	予算	実績
会議費	700,000	688,941
学会誌他印刷費	4,292,000	4,682,889
賛助会費	123,500	123,500
研究発表会	1,227,000	1,313,563
見学会・講演会	3,187,000	586,293
維持経費	3,290,300	3,303,444
人件費	6,519,000	6,779,015
法人税	70,000	70,000
税理事務所報酬	528,000	528,000
当年度支出計	19,936,800	18,075,645

特別会計（出版事業）

収入の部 (単位：円)

科 目	予算	実績
前年度繰越金	0	0
書籍売上	150,000	289,200
合計		289,200

支出の部 (単位：円)

科 目	予算	実績
販売経費（パンフ・送料等）	10,000	5,104
期首棚卸し資産	280,500	280,500
期末棚卸し資産	2,527,500	51,000
合計	△ 2,237,000	234,604
次年度繰越金		0

貸借対照表（2024 年 3 月 31 日） (単位：円)

資産の部		負債・純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	431,263	未払い金	143,594
普通預金	13,797,327	前受け金	3,931,922
定期預金	12,222,773	預かり金	54,760
2. 出版物棚卸し資産	51,000	負債の部合計	4,130,276
3. 立替金	0	III 純資産の部	
4. 前払い費用	0	1. 別途積立金	20,755,232
5. 未収入金	362,869	2. 繰越利益剰余金	
流動資産合計	26,865,232	前期繰越利益	4,023,694
		表彰資金取崩額	200,000
		当期利益	-2,243,970
		(次年度繰越金	1,979,724)
		純資産の部合計	22,734,956
合計	26,865,232	合計	26,865,232

損益計算書

自：2023年4月1日 至：2024年3月31日

収入の部

(単位：円)

項 目	非収益事業	収益事業	合 計	備 考
1. 会費収入	10,885,400		10,885,400	
2. 事業収入	3,363,449	2,017,430	5,380,879	
学会誌		1,602,614	1,602,614	定期購読・論文掲載・広告
書籍		297,261	297,261	ハンドブック
各種部会講演会・見学会	544,504		544,504	含関西支部
ソーラーカー講習会	544,400	82,500	626,900	東海大学(オンライン併用)開催
研究発表会登録費等	1,431,000		1,431,000	泉佐野市開催
見学会・懇親会等	353,000		353,000	
論文集売上げ・広告		30,200	30,200	
助成金	242,284		242,284	
雑収入・その他	48,000		48,000	
著作権料		4,818	4,818	
特別会計収入(表彰資金)	200,000		200,000	
受取利息	261	37	298	
合 計	14,248,849	2,017,430	16,266,279	

支出の部

管理費は非収益事業と収益事業収入から按分した

項 目	非収益事業	収益事業	支出合計	備 考
1. 事業支出	2,028,573	6,113	2,034,686	
諸会費(交付金・協賛金)	123,500		123,500	ソーラーシステム振興協会
雑費	11,330		11,330	会費引落し/ニコス事務手数料
部会支出	276,445		276,445	含関西支部
ソーラーカー製作講習会	309,848		309,848	東海大学(オンライン併用)開催
研究発表会開催費	568,303		568,303	福井開催
研究発表会見学会等	329,000		329,000	
論文集 J-Stage 掲載料	410,147	6,113	416,260	
2. 管理費	14,083,151	2,122,412	16,205,563	
職員給与	5,555,873	786,632	6,342,505	
福利厚生費・法定福利費	179,928	25,477	205,405	業務災害補償保険・労災保険
広告費(ホームページ他)	116,105	27,038	143,143	
会議費(総会・理事会)	252,543		252,543	
会議費(その他)			0	
通勤交通費	259,783	36,782	296,565	
通信費	270,691	38,327	309,018	電話料・郵送料等
消耗品・雑費	81,485	11,539	93,024	含振込手数料, コピー料
水道光熱費	82,319	11,656	93,975	
賃借料	1,366,520	193,480	1,560,000	
リース料	781,101	110,593	891,694	
学会誌制作費	4,102,091	580,798	4,682,889	原稿料・封筒代含む
書籍印刷・発送費		234,604	234,604	
支払い報酬(会計事務所)	462,514	65,486	528,000	
学会賞	436,398		436,398	
貸倒損失	135,800		135,800	2022年度会費回収不能額
合 計	16,111,724	2,128,525	18,240,249	
税引前当期利益	▲ 1,862,875	▲ 111,095	▲ 1,973,970	
法人税・住民税・事業税		70,000	70,000	2023年度事業税
当期純利益	▲ 1,862,875	▲ 181,095	▲ 2,043,970	

会計監査報告

2023 年度(令和 5 年度)会計監査報告書

一般社団法人日本太陽エネルギー学会
会長 秋澤 淳 殿

一般社団法人日本太陽エネルギー学会 2023 年度(令和 5 年度)(2023 年 4 月 1 日より 2024 年 3 月 31 日)の収支決算報告書について一般社団法人日本太陽エネルギー学会定款第 41 条に基づき、決算書、帳簿、伝票、証憑書類を監査した結果、適正に処理、記載されていることを確認した。

2024 年 5 月 10 日

監事 相曽一浩

監事 原 人志

(第 2 号議案) 2024 年度事業計画

一般社団法人日本太陽エネルギー学会 2024 年度(令和 6 年度)事業計画

自: 2024 年 4 月 1 日

至: 2025 年 3 月 31 日

1. 第 14 回定時社員総会

期日: 2024 年 5 月 29 日(水)

会場: 東京理科大学森戸記念館第 1 フォーラム
オンライン併用開催。

議事

- (1) 2023 年度(令和 5 年度)事業報告並びに決算報告、剰余金処分の件、会計監査報告の承認に関する件
- (2) 2024 年度(令和 6 年度)事業計画並びに予算案の承認に関する件
- (3) 団体会員・学生会員会費改定の件
- (4) 法人 8 期役員選出の件
- (5) 2023 年度学会各賞選考結果報告
- (6) 特別講演会
 - ・ IPCC, IEA, IRENA などの国際機関を中心とする国際動向について オンライン講演
環境エネルギー政策研究所 安田 陽 氏
 - ・ 再エネの地産地活・脱炭素で地域をリデザイン
石狩市企業連携推進課 加藤 純 氏
 - ・ 再生可能エネルギー政策について
新エネルギー課 津田 健人 氏

2. 理事会

6 回/年 開催し、遅滞なく業務を執行する。

3. 各種委員会

3.1 事業委員会(委員長: 佐川耕平)

- (1) ソーラーカー製作講習会は東日本地区で開催を企画する。学会誌への特集記事を企画する。

3.2 広報委員会(委員長: 桶真一郎)

- (1) 「第 19 回再生可能エネルギー世界展示会 & フォーラム」(2025 年 1 月 29 日～31 日)アカデミックコーナーに本会ブースを設け本会の活動内容を PR する。
- (2) ホームページの会員向けサービスの充実ならびに非会員向けに学会活動の PR を図る。

3.3 学会誌編集委員会(委員長: 城石英伸)

- (1) 学会誌「Journal of Japan Solar Energy Society」を Vol. 50, No. 3(通巻 281 号)～Vol. 51, No. 2(通巻 286 号)までの 6 回発行する。各号特集記事の充実を図る。
- (2) 太陽エネルギー利用に関連する教育講座や国際会議報告、研究室紹介等を掲載し、幅広い会員に親しめる学会誌編集を行う。
- (3) 通産省のサンシャイン計画は発足から 2024 年で丁度 50 年になる。JSES50 周年記念事業の一環としてサンシャイン計画関係者のエッセイを連載記事として企画する。

3.4 国際交流委員会（委員長：松原弘直）

KSES との相互交流としてお互いの研究発表会で相互に発表の機会を設けるよう検討する。

3.5 研究発表会運営委員会（委員長：野村裕宗）

(1) 2024 年度 JSES 研究発表会を「札幌市立大学芸術の森キャンパス」において 2024 年 11 月 2 日（土）～ 3 日（日）に開催する。

(2) KSES からの招待講演を予定する。

3.6 学会活性化委員会（委員長：植田 譲）

若手研究者とベテラン研究者との有益なディスカッションを期待して JSES・若手研究発表会を 7 月 31 日（水）にオンライン開催する。優れた発表には「若手研究発表会奨励賞」を贈呈する。

3.7 学会規程委員会（委員長：松尾廣伸）

各種規程の整備、見直し、改定を推進する。

3.8 表彰委員会（委員長：若尾真治）

(1) 「論文賞」（太和田賞、押田賞を含む）、「奨励賞」、「功労賞」「学会賞（学術部門）」「学会賞（技術部門）」「若手研究発表会奨励賞」の受賞者を選考し、研究開発ならびにその実用化促進に関する優れた業績を顕彰する。なお、「奨励賞」については研究発表会において予備審査を行う。

(2) フェロー認定は年 1 回の総会に合わせて 5 月の理事会で審査・認定する。

3.9 教育委員会（委員長：大竹秀明）

(1) 教育目的の利用を促進するために PPT 資料の公開を検討する。

(2) JSES 有識者へのインタビュー形式教育ビデオ（第 2 弾）の制作を予定する。

4. 各種部会

会員相互交流の他、新規会員の拡充を図るため、各部会において勉強会、セミナー、講演会等を企画運営する。

4.1 太陽熱部会（部会長：原 人志）

(1) 「第 19 回再生可能エネルギー世界展示会」（2025 年 1 月 29 日～ 31 日 東京ビックサイト）太陽熱分野の企画運営への協力。

(2) 太陽熱部会を開催し今後の運営について協議する。

(3) ソーラー建築ガイドブック編集への協力。

(4) 産業用および大規模太陽熱利用に関する検討会を開催する。

4.2 太陽光発電部会（部会長：宮本裕介）

(1) セミナーとして以下の 4 件を予定する。

・「太陽光発電のリサイクルの動向」6 月頃

・「地域マイクログリッドの動向」8 月頃

・「太陽光発電と積雪について」11 月頃

・「気象衛星活動について」を 2025 年 1 月頃

(2) 第 36 回セミナー「太陽光発電設備のガイドライン策定にかかる実証実験」を学会誌 282 号の特集記事として企画する。

4.3 光化学・バイオマス部会（部会長：渡邊康之）

(1) セミナーとして以下の 4 件を予定する。

・光合成と人工光合成－基礎から最先端技術まで－

・営農型太陽光発電の現状と課題

・微細藻類を活用したバイオジェット燃料と太陽エネルギー変換技術

・バイオインフォマティクス最前線

4.4 ソーラー建築部会（部会長：太田 勇）

(1) ソーラー建築に特化したガイドブックを完成させ講座を立ち上げる。

4.5 風力・水力部会（部会長：吉田茂雄）

(1) 風力関連の講演会・見学会を企画する。

4.6 100%再生可能エネルギー部会（部会長：秋澤 淳）

(1) 産業界における再生可能エネルギー利用・脱炭素化をテーマとするセミナーを上期に企画する。

(2) 10 月 19 日に開催される日本機械学会「新☆エネルギーコンテスト」の実施に協力する。

(3) 研究発表会におけるオーガナイズドセッションを企画する（2024 年 11 月 2 日～ 3 日）。

(4) 再生可能エネルギー利用を実装した ZEB やその他施設の見学会を予定する。

(5) 100%再生可能エネルギー化に関する勉強会（年 3 回程度の開催）を予定する。

4.7 地域脱炭素部会（発起人：秋澤 淳）

(1) 部会設立記念講演会を上期に開催する。

(2) 研究発表会におけるオーガナイズドセッションを企画する（2024 年 11 月 2 日～ 3 日）

(3) 地域における再生可能エネルギー導入の実践事例やその他関連施設の見学会を下期に予定する。

(4) 脱炭素先行地域の取り組みや脱炭素政策や適正技術等に関する勉強会（年 3 回程度の開催）を予定する。

5. 関西支部の行事（支部長：伊藤省吾）

見学会、シンポジウム等を開催し関西地区会員の啓発活動を行う。

(1) 見学会（9 月実施予定）

(2) シンポジウム（12 月開催予定）

(3) 第 4 回研究室探訪（9 月頃に実施予定）

(4) 幹事会 3 回 / 年を実施する。

6. 50 周年記念事業

- (1) 2025 年 5 月で JSES は 50 周年を迎える。2025 年の総会に合わせて再エネ関連学協会と連携して合同シンポジウムを実施し、他との連携を進める機会となるよう準備する。
- (2) 50 周年事業の一環としてソーラー建築ガイドブックを発刊する。
- (3) 学会誌では JSES50 周年記念事業の一環としてサンシャイン計画関係者のエッセイを連載記事として企画する。
- (4) 太陽エネルギーハンドブックの改定について検討する。

7. 会員増加と財務基盤強化

会員増加を目的として、団体会員の区分けや学生会員の会費見直しを行う。これらの施策に加えて各種委員会・各種部会を通じ個人会員、団体会員の増加を図る他、講演会やセミナー等の事業を強化する。論文投稿の促進策として学会誌投稿規程の改定を行い技術報告の新設、論文投稿者の条件見直し、および論文審査・査読規程を見直したことを踏まえ、今後は論文の査読品質の向上を図り個人会員、学生会員の増加につなげる。

また、学会誌の誌面充実による新規購読者の獲得、学会誌広告掲載の増強、および学会誌の電子版化により、経営の安定化ならびに財務基盤の強化を図る。

2024 年度（令和 6 年度）収支予算計画

自：2024 年 4 月 1 日 至：2025 年 3 月 31 日

一般会計

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算
前年度繰越金	1,979,724
会費	10,842,400
学会誌	1,946,014
研究発表会	2,696,000
各種事業・講演会	1,725,000
雑収入	360,000
当年度収入計	17,569,414
合 計	19,549,138

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算
会議費	750,000
学会誌	4,104,244
賛助会費	123,500
研究発表会	996,000
各種事業・講演会	3,470,000
維持経費	3,190,460
人件費	6,721,000
事業税等	70,000
税理事務所報酬	528,000
当期支出計	19,953,204
次年度繰越金	▲ 404,066
合 計	19,549,138
正味財産増減額	▲ 2,383,790

※ソーラー建築部会出版費用 2,400,000 円を計上

特別会計

1. 出版事業

収入の部

(単位：円)

科 目	予 算
前年度繰越金	0
書籍売上	51,000
合計	260,124

支出の部

(単位：円)

科 目	予 算
販売経費	10,000
期首棚卸し資産	51,000
期末棚卸し資産	2,400,000
合計	△ 2,339,000
次年度繰越金	2,390,000

※ソーラー建築部会出版物 2,400,000 円を棚卸し資産に計上

(第3号議案) 団体会員・学生会員 会費改定の件

1. 団体会員会費改定の件

団体会員の企業規模に応じて年会費を以下のように種別分けする。

種別	企業規模区分	年会費（一口）	議決権	学会誌（冊子版）
A	資本金 3,000 万円以上	15 万円	3 票	3 冊
B	資本金 3,000 万円未満	10 万円	2 票	2 冊
C	資本金 3,000 万円未満かつ従業員数 20 名以下	5 万円	1 票	1 冊

注 1. 一般社団法人等の団体は団体会員種別 A とする。

注 2. 学会誌 pdf 版の閲覧および会員専用 HP について、団体会員の社員の閲覧に制限は設けない。

注 3. 民間企業以外の団体から入会申込がある場合は理事会にて種別を決定する。

2. 学生会員の会費改定の件

学生会員会費を以下のように改定する

	会費	入会金
現状	6,000 円 / 年	無料
改定案	無料	3,000 円

(第4号議案) 法人第8期役員選出
役員候補者名簿

一般社団法人日本太陽エネルギー学会第8期役員候補者

(敬称略・五十音順)

任期：2024年5月29日より第16回定時社員総会（2026年5月開催予定）の日まで

理 事	秋澤 淳	(東京農工大学)
同 上	石井 久史	(株式会社 LIXIL)
同 上	伊藤 省吾	(兵庫県立大学)
同 上	植田 譲	(東京理科大学)
同 上	太田 勇	(株式会社ミサワホーム総合研究所)
同 上	大竹 秀明	(国立研究開発法人産業技術総合研究所)
同 上	岡島 敬一	(筑波大学)
同 上	桶 真一郎	(津山工業高等専門学校)
同 上	加藤 和彦	(国立研究開発法人産業技術総合研究所)
同 上	木村 英樹	(東海大学)
同 上	小林 広武	(一般財団法人電力中央研究所)
同 上	齊藤 雅也	(札幌市立大学)
同 上	佐藤 春樹	(慶應義塾大学・東京海洋大学)
同 上	佐藤 理人	(高知工科大学)
同 上	澤井 徹	(近畿大学)
同 上	城石 英伸	(東京工業高等専門学校)
同 上	高橋 明子	(福井大学)
同 上	盧 炫佑	(OM ソーラー株式会社)
同 上	野村 裕宗	(出光昭和シェル)
同 上	埴 藤徳	(国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所)
同 上	原田 真宏	(大和ハウス工業株式会社)
同 上	堀端 章	(近畿大学)
同 上	松尾 廣伸	(静岡大学)
同 上	松原 弘直	(特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所)
同 上	宮本 裕介	(株式会社関電工)
同 上	安田 陽	(特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所)
同 上	山田 昇	(長岡技術科学大学)
同 上	山本 博巳	(東北大学)
同 上	雪田 和人	(愛知工業大学)
同 上	吉田 茂雄	(佐賀大学・九州大学)
同 上	吉永 美香	(名城大学)
同 上	若尾 真治	(早稲田大学)
監 事	相曾 一浩	(OM ソーラー株式会社)
同 上	原 人志	(一般社団法人ソーラーシステム振興協会)

2023 年度（令和 5 年度）功労賞・学会各賞 受賞者（敬称略）

1. 2023 年度 功労賞

光田憲朗（三菱電機株式会社）

2. 2023 年度 最優秀論文賞（太和田賞）

論文標題「太陽電池モジュール／ストリングと大地の間の等価回路の提案」

掲載号 Vol.49, No.2（274 号）

加藤和彦（産業技術総合研究所）

3. 2023 年度 論文賞

論文標題「太陽電池における熱暴走現象のシャントスポット径収縮停止メカニズム」

掲載号 Vol.49, No.1（273 号）

河村龍太，南野郁夫（宇部工業高等専門学校），村井和弥（元宇部工業高等専門学校）

4. 2023 年度 論文賞

論文標題「30 年以上使用の体育館における太陽熱利用システムの運用と性能およびエクセルギー評価」

掲載号 Vol.49, No.2（274 号）

宋 城基（広島工業大学），伊澤康一（福山大学）

5. 2023 年度 奨励賞

【一般部門】

論文 No. 25 大容量蓄電池や昼間運転ヒートポンプ給湯機を搭載したエネルギー自給住宅の分析

藤本卓也（大和ハウス工業株式会社）

【学生部門】

論文 No. 3 全天空画像からの 1 および 2 方向の雲の流れ方向判定法の提案

脇坂 颯（豊橋技術科学大学）

論文 No. 10 Fe/N/C 型非白金系酸素還元触媒炭素担体への窒素原子ドーピングによる酸素還元能への影響

和田悠希（東京工業高等専門学校）

論文 No. 17 太陽集熱による Zn と H₂O を用いた水素生成及び ZnO の還元サイクルに関する研究

島田健太（日本大学）

論文 No. 34 GIS を用いた PV 向けの人工林の樹齢を考慮した適地検討

高橋沙里（福井大学）

論文 No. 40 PV 大量導入時の基幹系統における系統用蓄電池の混雑緩和効果に関する分析

加藤大樹（早稲田大学）

論文 No. 43 フラッシュ光照射時のキャパシタ電圧と出力電流に基づくストリング接続された
PV モジュールの不具合診断 柿本伸之介（茨城大学）

論文 No. 52 多点測定可能な I V カーブ測定機を用いた有機薄膜太陽電池の特性評価
濱 健斗（公立諏訪東京理科大学）

論文 No. 73 光透過型有機薄膜太陽電池を用いたオイル産生藻類培養の検討
二木達朗（公立諏訪東京理科大学）

論文 No. 87 太陽光発電・蓄電池・電気自動車を連携させた ZEH 住宅の実証
数値シミュレーションによる電気の自給自足可能性についての検討 佐藤 廉（前橋工科大学）

論文 No. 88 光透過型真空断熱材の封止後の圧力上昇を抑制する製造プロセスに関する研究
宮田天和（北海道大学）

論文 No. P2 強化学習による一軸追尾両面 PV アレイの角度制御特性
Andrea Burciaga Jimenez（長岡技術科学大学）

6. 2023 年度 若手研究発表会奨励賞

No. 1 太陽光発電及び電力需要の予測と電力需給結果の関係性について
佐藤聖史（東京大学大学院）

No. 6 太陽光発電・蓄電池・電気自動車を連携させた ZEH 住宅の実証
モデル住宅を対象とした数値シミュレーションによる検討 佐藤 廉（前橋工科大学大学院）

No. 11 n-BaSi₂ 膜のデバイス応用に向けた正孔輸送層の探索 青貫 翔（筑波大学大学院）